

① 次の各文の―線部の助動詞の意味が同じものには○、そうでないものには×を書きなさい。

① 君が親切にしてくれたことを、僕は絶対に忘れまい。
打消意志

② この情報化社会の行く末はきっと誰にも予想できまい。
打消推量

③ 故郷で一人暮らしをしている、老母の身が案じられる。
心情語

④ リンゴの香りに包まれると、君のことが思い出されるよ。
自発

⑤ はがれた壁紙をすべて取り替えて、リフォームしたい。
存続

⑥ 中学校の運動会はちょうどいま始まった頃だろう。
完了

⑦ 先輩は明日から大阪代表の練習に参加するそうです。
伝聞

⑧ かなり疲れてはいますが、まだすこし頑張れそうです。
様態

⑨ もう卒業までみんなで一緒に遊べる機会はないようだ。
推量

⑩ 息子はなんとか東京で一人暮らしができています。
推量

① 次の各文のまがいがいがある文節を―線を書き、その文節を□に正しく書き直しなさい。

① 飼いのポチが水を飲みたいので、ぼくは皿にたっぷり水を入れてやった。

特に一文節で直すように指示していないので二文節も○。
飲みたがるので
(飲みたがっている)

② このぶどうは少し腐っていて、食べられない。
食べられない

「ら」抜き表現 巴行下一段には「られる」をつける。

③ 次の文章の【一】にあてはまる助詞を後のⅠから選び、またその助詞の意味をⅡから選んで記号で書きなさい。

父は食べ【一】話をする【二】怒ります。それ【三】行儀が悪いからだそうです。しかし、僕は楽しくご飯を食べたい【四】、いろいろな話をしたいです。静かな食卓【五】、少しぐらいにぎやかな食卓がいいです。母は、どちら【五】意見もわかるそうです。

Ⅰ A の B でも C より D が E ので F ながら G は

Ⅱ ア 原因・理由 イ 連体修飾語 ウ 動作の並行 エ 主語
オ 区別 カ 比較 キ 体言の代用 ク 対象

① Ⅰ F
Ⅱ ウ

② Ⅰ G
Ⅱ オ

③ Ⅰ E
Ⅱ ア

④ Ⅰ C
Ⅱ カ

⑤ Ⅰ A
Ⅱ イ

